

かんな  
◆ 金名 の 郷頭 ◆



◆ 諸元 ◆

河川名：一級河川芦田川水系金名川

場所：広島県福山市新市町常

築造年：江戸時代中期

構造：アーチ式石積ダム H=7.8m, L=8.7m  
(導水部：H1.2m, W=1.9m, L=5.8m)

目的：洪水調節, 橋梁  
府中本山⇒常金丸を結ぶ往還(交通路)  
★『ごうとう』=『村の入り口』

特徴：石積は打ち込み接ぎ<sup>はぎ</sup>・谷積技法。洪水吐き  
天板の石組は、古墳の横穴式石室と同じ  
持ち送り技法

その他：1840年(天保11年)豪雨で上流の  
切池が決壊の際、大水をくい止めたとの  
伝承がある。

位置図



ポイント!

- ・『洪水吐天板の石組』, 『アーチ式の石積み』, 『流路工の石張り』は丁寧な仕事であることが伺われる, 先人の技術の高さを感じる土木遺産です。
- ・地域の方々に愛され, 四阿(あずまや)やトイレ, 駐車場が整備されています。  
ドライブ途中の休憩に立ち寄られるのも良いのでは!

★ビューポイント 右岸側の散策路(階段)を降りて下から見上げる郷頭(ごうとう)は圧巻です。



県道399号金丸府中線より左折  
緑蛍光色の『郷頭』が目印



ごみステーションが目印  
(あと200m)



駐車場 (約5台可)  
トイレもあります

中学生の課外授業  
(地域のガイドさんの話に耳を傾けてます)

